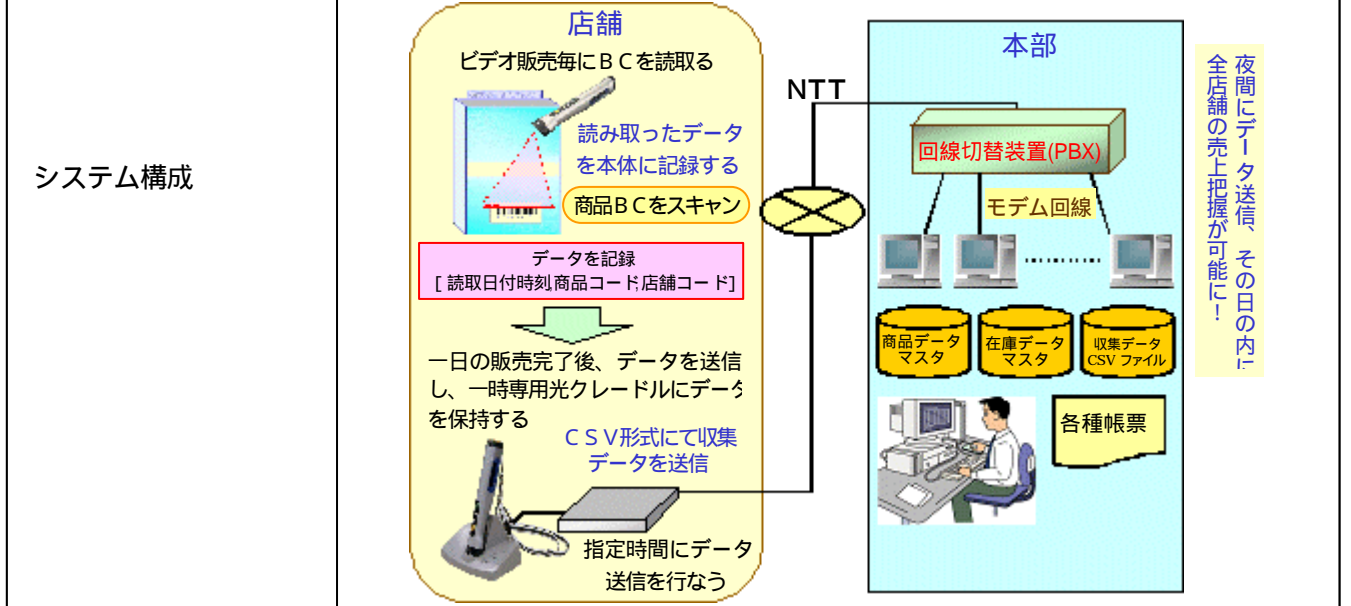


分類項目	ビデオ委託販売管理システム
販売管理	『ビデオ委託販売管理』

導入業種	ビデオ委託販売業
主要機器	PC、ハンディターミナル(Sparklet)、専用通信ボックス、データ送信BOX

導入環境 並びに 導入前の問題	<p>販売店舗に於いて、商品手配の手続きが店舗任せになることにより、思い込みの2重依頼や依頼忘れなどで、不適切な在庫や販売機会損失を起こしている。</p> <p>また売れ筋情報は人の感覚任せになっている。</p> <p>販売店舗からFAXでの商品手配を行っているため、本部でのデータ入力作業が必要で効率が悪い。</p> <p>在庫状況の把握は、委託販売のため本部より社員が訪問して実施しており、その作業に時間をかなり取られている。</p> <p>また、棚卸し状況は月1度程度把握するのが精一杯である。</p>
-----------------------	--

システム概要	<p>商品販売情報を商品BC(バーコード)を読み取ることでデータ収集し、販売数・在庫数を把握することで品切れ状況が無いよう、商品の適切な管理をサポートします。</p> <p>日々のデータを本部に集めることで全販売状況の把握が可能になり売れ筋商品等の分析など経営戦略にも寄与するシステム構築が可能となります。</p> <p>収集したデータには、店舗データ・販売日付時刻・商品データ等が同時に記録されSparklet 内部に保存されます。</p> <p>データは 64 バイト単位で記憶し、最大 9100 データの記憶が可能です。</p>
--------	---



導入による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の販売数・在庫数を把握することで販売店舗での品切れ状況が少なくなった ・在庫状況の把握が出来、余剰品の店舗間回し調整が可能となった ・全販売状況の把握が可能になり、売れ筋商品等の分析などから経営戦略の立案が出来るようになった ・販売店舗からの商品手配業務が必要でなくなり、商品補充が本部から適時行えるようになった
---------	--

その他	
-----	--